

第23回 先端医療センター Monthly Lecture

多くの研究機関や関連企業が集積し、クラスターとしての体制が整いつつある神戸医療産業都市における次の課題は、意見交流の場を様々な形でつくりだし、関係者の縦横の協力関係を構築し、最近の研究開発をめぐる大きな変化に対応する体制を作り上げることです。その一つの試みとして、優れた研究者による講演会を定期的に開催し、交流、協力関係構築のきっかけを提供したいと考えております。

学会や交流会は盛んに行われており、最新のトピックスを伺う機会は豊富にあります。優れた研究者の一連の研究の歩みや領域全体の研究の流れを伺う機会は多くはありません。そこで、本レクチャーシリーズでは優れた研究者をお招きし、十分な時間を取って一連のストーリー、考え方、研究に対する思い入れをお話しいただきます。

先端医療センター長 鍋島 陽一

日時・場所

2013年10月4日（金）16:30～18:30

神戸臨床研究情報センター（TRI）第1研修室 ※参加費無料



講師

石井 俊輔 先生

理化学研究所筑波研究所分子遺伝学研究室 上席研究員

演題

環境要因によるエピゲノム変化と疾患

講演内容

栄養、病原体感染、精神ストレスなどの様々な環境要因がエピゲノム変化を誘導し、多くの疾患発症に影響すると推定されている。例えば「胎児プログラミング仮説」は、胎児期・乳幼児期の栄養不足が生活習慣病の発症を増加させ、その影響が遺伝することを示唆している。しかしメカニズムについては不明な点が多い。最近の研究により、私達が最初に同定し、長らく研究してきたストレス応答性の ATF-2 ファミリー転写因子が、この現象に予想以上に重要な役割を持つことが示されつつある。この分野の研究の現状を紹介したい。

お申込み

◎参加を希望される方は、事前にEメール (monthly-sanka@fbri.org) にて、お名前・ご所属・メールアドレスをお知らせ下さい。

◎当日参加の方も歓迎です。

◎事前申込をいただいた方には、今後の「先端医療センターMonthly Lecture」のご案内をはじめ、当財団からのシンポジウムや講演会等のご案内をお送りさせて頂きたく存じます。連絡不要の方はお手数ですが、その旨お知らせください。

お問合せ

Mail: monthly-sanka@fbri.org

TEL: 078-306-0708